

第3回 里山シンポジウムによせて

本日は、ここに第3回里山シンポジウムが盛大に開催されますことをお喜び申し上げますと共に、本日参加いただいた皆様のご努力には、心から感謝申し上げます。

今回もシンポジウムに参加させていただいて、皆さんと一緒に里山の再生や保全、残土問題に関してお話できることを楽しみにしていましたが、公務のため参加できなくなり、大変残念です。

私は国会議員時代から環境問題に積極的に取り組んでまいりました。千葉県知事に就任してからは、産業廃棄物の問題をはじめ、千葉県の美しい県土の保全に努めてきましたので、「里山とゴミ」という美しい県土の保全にとって重要な問題がテーマとして議論されることを、うれしくそして心強く思います。また、このテーマには、本当に皆さんの里山を愛する熱い思いが込められているのではないかと思います。

千葉県では、平成15年5月に「里山条例」を制定し、その施行日、5月18日を「里山の日」としておりますが、未来の人たちから預かっている大切な財産である里山を、県民・NPOや企業、など多くの人々が力を合わせ、保全し活用しながら人と里山との新たな関係を築いていきたいと考えています。

ご参加された皆様には、本シンポジウムの開催を契機として、いっそう議論が深まり、人と里山の共生を目指した活動がさらに活発になることを願っております。

千葉県知事 堂本 暁子